

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会
 会長 高野 淑 恵
 〒343-0021 越谷市大林235-9
 TEL・FAX 048-977-1908
 発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
 理事長 高野 淑 恵
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂
 2-15-3 母子福祉会館内
 TEL 048-833-0444
 FAX 048-833-0400
 発行日 令和2年3月31日
 購読料 20円は会費に含む



『津久井やまゆり園事件に……』 越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

平素よりご支援ご協力戴いております。皆様には厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの猛威が続いています。「自粛疲れ」などという言葉も出ていますが、今は堪え忍びしかないでしょう。有効な治療薬ができるまで辛抱ですね。施設の行事もほとんど中止となり利用者も我慢我慢です。施設から感染者が出ないよう毎日祈っています。目に見えないものとの闘いは消耗しますが、いちばん護りたい人のことを思っがんばりましょう。

さて、この3月には、あの「津久井やまゆり園事件」の公判がありました。2016年7月に神奈川県相模原市のやまゆり園で、元職員が知的障害者19名を殺害し、施設職員を含む26名に重軽傷を負わせた事件です。「意思疎通のできない障害者は社会にいらぬ。障害者は不幸しか生み出さない」と言い続けていた植松被告は、あの日から公判の間も終始同じ差別発言を繰り返していました。そして本年3月16日に求刑通り「死刑」が言い渡され、30日、弁護士の控訴を自ら取り下げて死刑が確定しました。この事件で我が子の命を無残に奪わ

れた被害者家族は、皆一様に「被告がなぜこのような事件を起こしたか、本当ことを聞きたかった、知りたかった」と述べていました。いくら考えても植松被告がこの犯行に至った理由は分かりません。分かっているのは、植松被告には罪の意識が全くないということです。一貫して主張している障害者差別の内容は、主にヒットラーの「スピー」に過ぎず、植松被告が自分で経験し感じたことから、真剣に悩んだりの考えたりして辿り着いた結論ではないのです。だから植松被告には、自分だけの「本当のこと」がないのだと思います。

人間は「空想」することのできる唯一の生物です。そして空想や想像で遊ぶことは幼少期の一番の特権です。幼少期の柔らかな脳は、貪欲に知識や好奇心を吸い上げて、夢見る世界を広げます。空想と現実の世界を行き来することで、豊かな感性が育まれ、その後の人間性を形成していきます。

植松被告はその大切な幼少期をどんなふうに通ごしたのでしょうか？小学生の時に、すでに「障害者はいらぬ」と作文に書いていたそうですが、楽しい空想の世界で遊んだり、胸が震えるような感動を経験したりはしなかったのでは

ようか。夢見る時を過ぎて、人生にはたくさん悲しみや挫折もやってきますが、それらの体験があつてこそ、自分や人の傷みを知って、さらに感性が磨かれて、「自分」という一人の人格が成長していくのだと思います。そしてやがて、自分にとって本当に大切なものを見つけ、力を得ていくのです。そういついろうな体験や、夢の記憶のないまま成長してしまっただとしたら、あの余りにも空虚な人間性もうなづけますし、大切な我が子を奪われた家族の気持ちを全く想像できないことも分かる気がします。

人にとって、「命」こそが何よりも大切であることが植松被告には分からず、それゆえに、人の命も自分の命も粗末に扱うのです。全ての人の「命」に尊厳があることを想像も理解もできないのです。

命を捨てる覚悟さえあれば、どんな愚かなことも、どんな悪逆なこともやって良いわけではありません。何よりも哀しいのは、こんな植松被告に共鳴し賛同する人たちがとても多いということです。

憎悪は人間性を腐蝕させ、闇の中に孤立させます。人を人でないものに変えてしまいます。

そんな闇に、どうか囚われないでください。



今回の千草園だよりは一月から、三月までの千草園の様子をお伝えいたします。

初詣 久伊豆神社

出店を満喫!



一月六日(月)は今年初めての通所日ということで、恒例となりました。お正月の運動不足を解消するため、みんなで散歩しながら「久伊豆神社」へ行きました。一人ひとりお賽銭を投げ、お参りを(みんな何をお願いしたのですかね...)していました。その後は、グループに分かれて出店でお買い物。ポテトを食べたり、射的をしたりして楽しみました。 　　こういう時は、本当にいい顔をしているみんなです。



越谷市手をつなぐ育成会 新年会



一月十日(金)北越谷のギャザホールで「越谷市手をつなぐ育成会 新年会」が行われました。千草園のみんなも毎年楽しみにしている新年会です。いつもと違う雰囲気の中での食事もだいぶ慣れてきました。沢山の料理に囲まれながら素敵な時間を過ごしました。歌の発表では千草園らしい元気で活き活きとしたみんなの表情がとても良かったです。



回転寿司「スシロー」 南越谷店開店記念試食会

一月二十日(月)に南越谷駅前におオープンしました、「回転寿司 スシロー」のご招待により開店記念試食会に参加してきました。当日は、他事業所の

方々も一緒に賑やかな食事会でした。流れてくるお寿司を見てはどれを食べようかと悩む顔。気が付けば各テーブルのお皿は、言うまでもなく、ドンドン積み上げられました。ご招待ありがとうございました。



グループ別外出 映画鑑賞会



二月六日(木)に越谷レイクタウンで行われて映画鑑賞会に参加して来ました。今回はグループ別ということで三名の利用者さんが参加し、「アナと雪の女王2」を鑑賞しました。

長い上映時間もあつという間で、皆さん集中して見ていました。映画終了後は、レイクタウン



んで好きなものを選び、お食事もお楽しんできました。



グループ別外出 焼肉食べ放題&ボウリング



二月二十一日(金)に次のグループは、「焼肉食べ放題」とボウリングに行ってきました。焼肉食べ放題では、お肉、カレー、唐揚げ、ケーキと端から端まで楽しんできました。久しぶりのボウリングでは心地よい汗を掻き、ストライク!・スベア!に一喜一憂して来ました。



「終わりに...」

三月以降、新型コロナウイルスの影響で所外活動は自粛しています。ようやく春が来たというのに、早く穏やかな日々が訪れるようお願いばかりです。



(田中)

野の花だより

すっかり春らしい、温かい季節となりました。桜の開花も平年より早く、今年は歩きながらのお花見ですね。新型コロナウイルスも心配されますが、出来る対策を十分行いながら、日々の活動の中で楽しめることを見つけていきたいと思えます。今回は、一月から三月までの出来事を紹介いたします。



【新年会】

一月十日（金）、北越谷のギヤザホールにて新年会が行われました。今年は、成人を迎えられる方がいませんでしたので、皆さんで会食をした後、くじ引き大会をして盛り上がりました。大きい景品にするか、小さい景品にするかを真剣に選びながら、大事そうに持ち帰

っていました。いよいよ、両施設からの歌の発表です。野の花は、キンプリの「君を待っている」を元気に演奏。緊張している様子も見られましたが、拍手が起こると満足そうな笑顔が見られていました。美味しい食事で、お腹もいっぱいになり、大満足でした。



【土曜通所日】

一月二十五日、二月十五日、三月二十八日には、土曜通所日として調理実習を行いました。月によってメニューは違います。一月はすいとんと、ハンバーグ、マカロニサラダを作りました。皆さん、慣れた手つきで野菜を切ったり混ぜたりして下さいました。二月は、

二種類のパスタとサラダを作り、ミートソースと、たらこから選んでももらいました。人気は、やつぱりミートソース。口にソースを付けながら、沢山食べていました。三月は、室内でホットプレートを使った焼き肉大会。声を掛けなくても、ホットプレートの近くに集合して、お肉を嬉しそうに食されていました。野菜は、あまり人気がないようで隅のほうに追いやられていました。回を重ねることに皆さんの包丁使いも上達し、少しずつ協力しながら行うことが出来ました。



【お楽しみ、レクリエーション】

寒さやコロナウイルスの影響で、外出が難しい期間。野の花では、室内でレクリエーションを行って

楽しみました。皆さんが好きなのは、おやつ作りです。一月から三月は、日中の中で「どらやき」「おしるこ」「あんみつ」「三色ホットケーキ」を作って食べました。どれも思ったより、りっぱに美味しく出来ました。

また食することだけでなく、室内で卓球バレーやボーリング、カラオケ大会等も行い、体を動かししました。卓球バレーやボーリングでは一球一球に力が入り、笑顔の人や悔しそうな顔をしている人々様々でした。

季節行事としては、節分の豆まきも行いました。鬼の面に色を塗ったり、お豆を入れる箱に飾りつけをして準備をした後、いよいよスタート。「鬼は外」「福は内」の声が響く中、はりきって豆を投げっていました。

二〇二〇年度のスタートです。心新たに頑張っていきたいと思えます。
(高野)



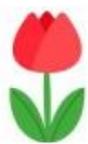
会計報告



《 売上金 》

- ・わかめ 5,500 円
- ・ごま 5,950 円
- ・お茶 14,040 円
- ・うどん等 6,000 円

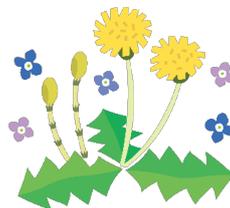
ご支援ありがとうございます



今後の予定

総会

コロナウィルス
感染拡大防止の為
書面承認になります。



ホームページ ご覧ください
QRコード ご利用ください



◇◇ 編集後記 ◇◇

3月28日夜、千葉県の障害者入所施設で新型コロナウイルスの集団感染の報が届きました。職員さん、入所者さん一丸となって全力で予防に取り組んでいらしたことでしょう。それでも、恐れていた事態が現実となりました。

障害ゆえ、受け入れできる医療機関がなかなか見つからないケースもあると伝わっています。過去の災害時のように、社会的に弱い立場の方々が見過ごされたり、後回しされることがないようにと強く強く思います。 (猪鼻 孝子)